

【国土交通省・東京都作成メモ】

第18回 PI外環沿線協議会（概要メモ）

1. 日時：平成15年4月24日（木） 午後7時00分～9時00分
2. 会場：都庁第一庁舎5階 大会議場
3. 出席者：23名
 関係者（敬称略）
 須山直哉（練馬区） 武田佳登（練馬区） 宿澤藤子（杉並区） 本橋又藏（杉並区）
 濱本勇三（武蔵野市） 村田あか（武蔵野市） 新山守一（三鷹市） 米津鐵雄（三鷹市）
 渡辺俊明（調布市） 橋本妙子（狹間市） 秋山光男（世田谷区） 江崎美枝子（世田谷区）
 栗林勝彦（世田谷区）
 地元自治体
 平野和範（練馬区） 倉田征壽（杉並区） 井上良一（武蔵野市）
 柴田直樹（三鷹市） 新谷景一（調布市） 栗下孝（世田谷区）
 国土交通省・東京都
 川瀧弘之（関東地方整備局道路企画官） 伊勢田敏（関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所長）
 成田隆一（東京都外かく環状道路担当部長） 宮良真（東京都外かく環状道路担当課長）
4. 傍聴者：約50名
5. 概要：

【オープンハウスについて】

- ・区市の行政が中心になりながら進めていく段階になっているのではないかと。協議員が行政の中に入ってやっていくことが可能なのか疑問。
- ・区市の立場、協議員の立場をもう少し明確にした方がよい。
- ・それぞれ地元区市の自治体としての考えがあり、個別にどう対応するかは各地元の考えでよい。

【必要性の有無（効果と影響）について】

- ・歴史を破壊せず、保存していくことも検討すべき。
- ・将来的に湾岸まで結んだとき交通量がどうなるのか、シミュレーションすべき。
- ・一番影響を及ぼすジャンクション・インターチェンジ周辺の交通量や換気処理について説明すべき。
- ・ジャンクション周辺は、ジャンクションができるだけでも大変なのに換気塔ができれば大変なことになる。
- ・地上部の街路については、もう少し意見が集約された段階で議論することと決まっているため、今議論すべきでない。
- ・大深度でやったとしても上は使うように聞こえる。地上の建物は入っていないことを明確にすべき。
- ・地元の人達も含め、外環に付随する道路は、外環が大深度地下になったとき全て消えると思っている。
- ・「外環本線トンネルの地上部の街路については、今議論している外環道との必要性の有無とは切り離し、必要性の議論がある程度集約された段階で議論していく」ことを協議員全員の共通認識とすることについて、賛同願いたい。
- ・地上部の街路についても環境に影響すると思う。協議員全員の共通認識とする提案はいいものか。
- ・関越道から青梅街道までの街路については、区議会の公式な意思表示はなかったこと及び促進議員連盟の文書中にもないことを確認した。その点について、次回、文書にて回答いただきたい。
- ・地上部の整備の方向は、今後必要になった時点で考えるべきであり、現時点では全部地下に入っているという認識でいるべき。
- ・街路の話が出てくるのであれば、必要性の議論よりも先に話をしていくべき。

【その他】

- ・次回は、5月13日（火）に「環境に与える影響」から議論をする。
- ・本協議会は昨年6月に発足し、今度の6月が一区切りとなるため、次回の運営懇談会では、今後の進め方も含め、任期やスケジュールについて話し合い、次回の協議会でスケジュールの提案をする。